

東北地方 1 か月予報

(3 月 1 5 日から 4 月 1 4 日までの天候見通し)

平成 1 5 年 3 月 1 4 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気は概ね周期的に変化しますが、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

向こう 1 か月の気温は平年並、降水量は平年並か少ない、日照時間は平年並が多いでしょう。

週別の気温は、1 週目は平年並か低い、2 週目は平年並か高い、3 ~ 4 週目は平年並の見込みです。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >

[気 温] 東北地方

20	50	30
----	----	----

[降 水 量] 東北地方

40	40	20
----	----	----

[日照時間] 東北地方

20	40	40
----	----	----

低い(少ない)	平年並	高い(多い)
---------	-----	--------

< 気温経過の各階級の確率 (%) >

[1 週目] 東北地方

40	40	20
----	----	----

[2 週目] 東北地方

20	40	40
----	----	----

[3 ~ 4 週目] 東北地方

30	40	30
----	----	----

低い	平年並	高い
----	-----	----

< 予報の対象期間 >

1 か月 : 3 月 1 5 日 (土) ~ 4 月 1 4 日 (月)

1 週目 : 3 月 1 5 日 (土) ~ 3 月 2 1 日 (金)

2 週目 : 3 月 2 2 日 (土) ~ 3 月 2 8 日 (金)

3 ~ 4 週目 : 3 月 2 9 日 (土) ~ 4 月 1 1 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 3 月 2 1 日

3 か月予報 : 3 月 2 5 日 (火曜日) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30年平均値（向こう１か月の平均気温，降水量，日照時間と１週目，２週目，３～４週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温 ()		
				１週目	２週目	３～４週目
大船渡	5.8	120.3	173.3	3.6	4.6	6.9
新庄	4.3	107.4	135.8	2.1	3.1	5.4
若松	5.8	68.6	156.5	3.2	4.4	7.1
深浦	5.1	89.8	154.1	2.8	3.9	6.3
青森	4.5	64.2	170.2	2.2	3.3	5.7
むつ	3.9	78.6	177.0	1.5	2.7	5.1
八戸	4.8	55.3	186.2	2.4	3.6	6.1
秋田	5.8	104.6	163.1	3.4	4.6	7.0
盛岡	4.6	90.1	171.5	2.0	3.2	5.8
宮古	5.4	97.7	188.1	3.1	4.2	6.6
酒田	6.6	104.3	153.6	4.4	5.4	7.7
山形	5.8	67.5	163.0	3.2	4.4	7.1
仙台	6.8	88.9	188.1	4.6	5.6	7.9
石巻	6.0	84.5	192.6	3.8	4.9	7.1
福島	7.5	83.8	184.8	5.0	6.1	8.7
白河	6.1	93.5	183.3	3.7	4.8	7.3
小名浜	8.2	127.2	186.2	6.3	7.1	9.2

なお、気温，降水量，日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000年のデータに基づいた向こう１か月地域平均の気温，降水量，日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差 ()	降水量平年比 (%)	日照時間平年比 (%)
東北地方	-0.2～+0.4	87～111	96～105
東北日本海側	-0.2～+0.3	88～107	95～105
東北太平洋側	-0.2～+0.4	83～116	97～105

（３）この予報期間の１週目，２週目，３～４週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	１週目	２週目	３～４週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.5～+0.6	-0.4～+0.6
東北日本海側	-0.5～+0.6	-0.5～+0.6	-0.5～+0.5
東北太平洋側	-0.5～+0.6	-0.5～+0.6	-0.3～+0.6

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率60％の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに33％）から大きく隔たった確率（10％や60％、70％など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 15 年 3 月 14 日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(3 月 15 日～4 月 14 日) :

天気は概ね周期的に変化しますが、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。
平均気温は平年並でしょう。

1 週目(3 月 15 日～3 月 21 日) :

期間の中頃には気圧の谷により曇る日がありますが、その他の日は概ね晴れる見込みです。
平均気温は平年並か低いでしょう。

2 週目(3 月 22 日～3 月 28 日) :

天気は概ね周期的に変化しますが、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。
平均気温は平年並か高いでしょう。

3～4 週目(3 月 29 日～4 月 11 日) :

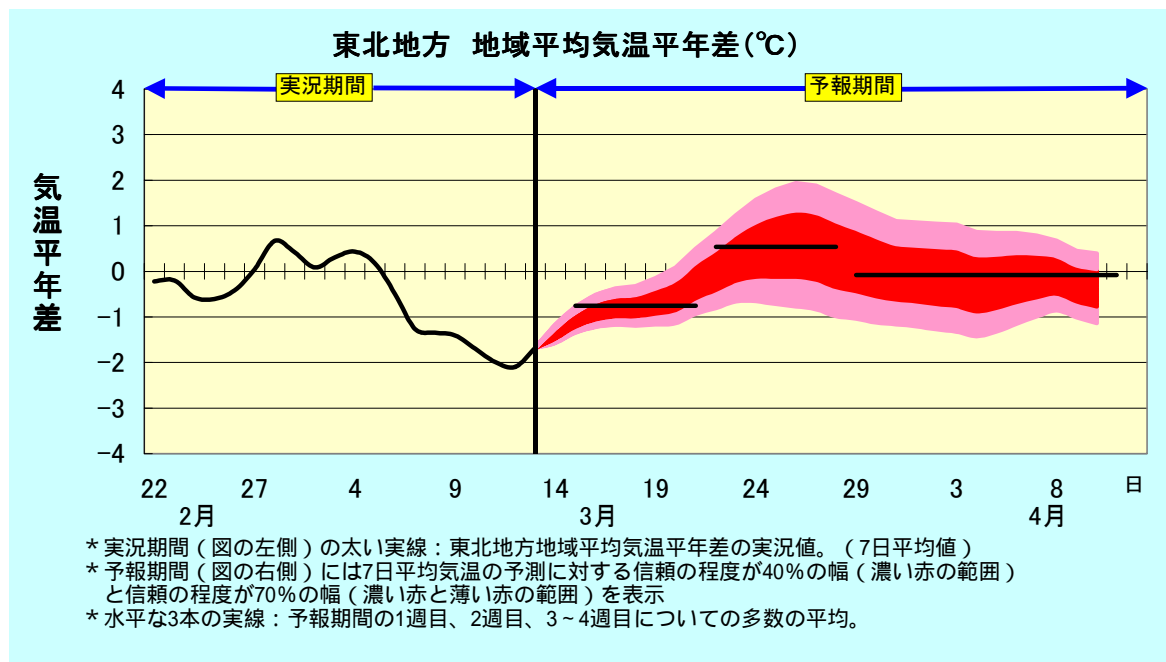
天気は周期的に変化する見込みです。
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

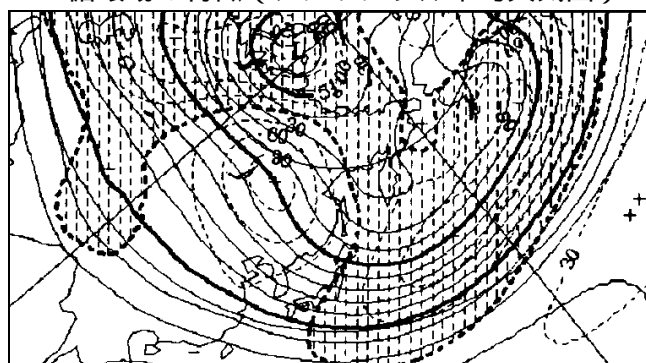
	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	14.0 日	3.1 日	3.5 日	7.4 日
東北太平洋側	17.5 日	4.5 日	4.4 日	8.6 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目を「低い」、2 週目、3～4 週目を「平年並」を予測している。予報は、その他の資料から 1 週目を「平年並か低い」、2 週目を「平年並か高い」に変更する。
なお、数値予報の信頼度は大きい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



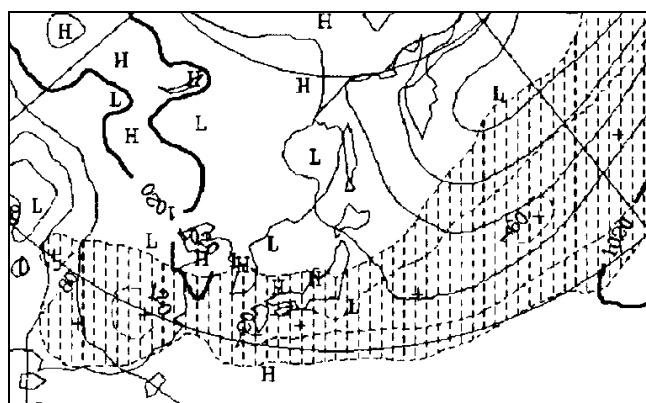
月平均の 500hPa 高度・偏差

等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、大陸は正偏差、日本の東海上は負偏差となり、東谷傾向。このため日本付近では低気圧や前線は平年に比べて発達しにくい見込み。

週別（図略）では、各週とも概ね月平均に近い偏差分布となっているが、東谷の傾向がはっきりしているのは 2 週目まで。1 週目は日本付近は負偏差、2 週目は日本付近は正偏差。3～4 週目は偏差が小さくなり、平年並に近い。



月平均の地上気圧と降水量

等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上

地上気圧と降水量

月平均で見ると、地上付近の等圧線の間隔はまばらで、天気は周期変化が基調になる見込み。気圧配置は平年並で、日本の南岸から東海上にかけて降水域が伸びるが、東北地方にはかかっていない。

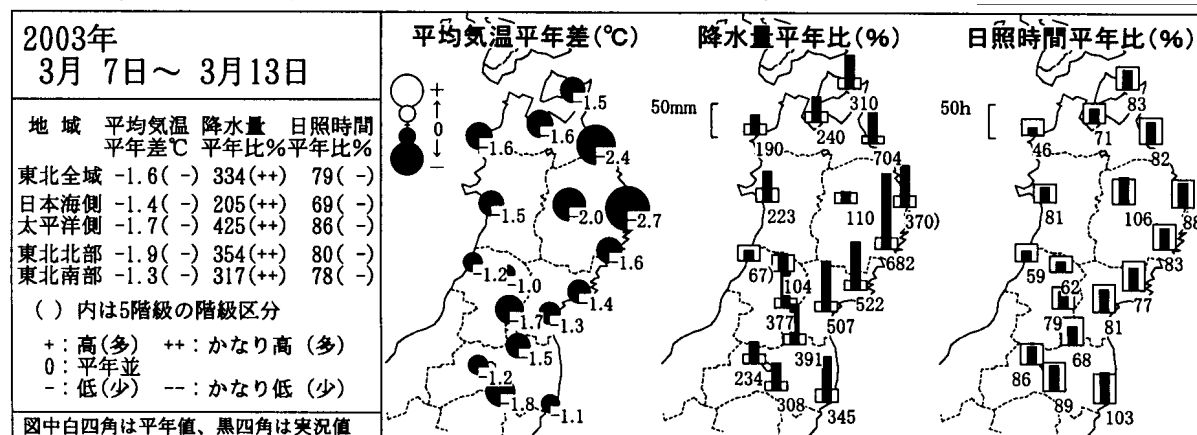
週別（図略）では、各週とも概ね月平均と同様だが、2 週目は平年に比べ日本付近の気圧が高く、3～4 週目は東北地方まで降水域が広がる。

4. 最近 1 週間（3 月 7 日～3 月 13 日）の天候の経過

7～8 日にかけて低気圧が発達しながら三陸沖を北東進した。このため、東北地方は大荒れの天気となり、漁船の転覆や防波堤、養殖施設の損壊など大きな被害が発生した。7 日は大船渡で日降水量 91.0mm、小名浜で日最大瞬間風速 31.1m/s を観測し、いずれも 3 月の極値を更新した。また、8 日は東北太平洋側の北部で記録的な大雪となり、日降雪量が八戸で 47cm、宮古で 62cm と、3 月の極値を更新した。

その後は冬型の気圧配置となって、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。

平均気温は、東北地方で平年差 -1.6 と低かった。降水量は、東北地方で平年比 334% とかなり多かった。日照時間は、東北地方で平年比 79% と少なかった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）